

とよた市議会 だより

9月市議会
定例会号
平成27年10月15日

ファイルNo.
130

歳出総額2,771億円(一般会計:1,840億円、特別会計:648億円、企業会計:283億円)(承認第4~18号)

平成26年度一般会計を始め15件の決算を認定

公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正条例(議案第93号)

ラグビーW杯開催に向けて職員を派遣します



小原地区 川見四季桜の里
(写真は昨年の様子)

ピックアップ
TOPICS
トピックス

多くの観光客を迎えるため

約1,200本の四季桜が咲き誇ることで全国的にも名高い「川見四季桜の里」。これまで駐車場の整備や有料化のほか、広場や人道橋などを整備してきました。一連の整備が終了したことで、施設を条例に位置づけ、四季桜まつり期間中だけでなく、年間を通して多くの観光客に訪れていただき、地域の活性化につなげていきます。

●トップインフォメーション

大学生が聞く、豊田市議会! ②

●議案説明・討論

条例の制定・補正予算など ④

●議案審議結果

..... ⑤

●常任委員会

付託案件・陳情を審査 ⑥

■ 市政について問う!

●一般質問 21人の議員が質問 ⑧

●トピックス

地域市議会報告会を開催します
ラグビーW杯2019の豊田市開催をPR など ⑫

大学生が聞く、豊田市議会！

平成26年度は本会議（4回の定例会と2回の臨時会）に1,356名、常任委員会には22名の方が傍聴におみえになりました。傍聴は市議会の活動を知り、肌で感じるよい機会です。

今回は愛知学泉大学在学の北垣 伽治（きたがき かつじ）さんが、9月定例会一般質問と、産業建設委員会を傍聴されましたので、その内容について紹介をしていただきます。

▶北垣さんプロフィール・・・愛知学泉大学3年 現代マネジメント学部 豊田市在住



北垣伽治さん（議場前にて）

本会議 ～一般質問～

※手話通訳の希望は5日前までに
議会事務局へお申し込みください。



▲一般質問を傍聴

ここでは、私が豊田市議会の傍聴をした際の印象をお伝えいたします。

まず、私がなぜ傍聴しようと思ったのかをお話します。それは今年4月の市議会議員選挙の際に手にした資料では、議員が普段どのような活動をしているか分からなかったため、実際に自分の目で見て、確かめようと考えたからです。

一般質問は、豊田市役所南庁舎8階で受付を行い傍聴します。受付では住所・氏名を記入し、質問者の名前や内容の一覧、議会についての資料とアンケート用紙を受け取るほか、傍聴内容などをメモするためのボードや筆記具の貸し出しもあります。

いよいよ傍聴席に入ります。そこでは、普段のテレビ中継では感じ取ることができないものが分かります。特に議場内での議員の行動や雰囲気は、実際に見てみないと感じ取るのは難しいと思います。また、一般質問のやり取りでは、事前に質問内容を通告する必要があるということもあり、質問に対する的確な答えを聞くことができました。

本会議の
傍聴は南庁舎
8階です



※南庁舎東側エレベーター3基のうち2基のみが8階へ行きます。

職員の方が
受付で対応
してくれます



受付では
住所・氏名を
記入するだけ！





常任委員会～産業建設委員会～



▲委員会を傍聴

委員会とは提出された議案を審査する場で、本会議と比べ、より深いところまで踏み込んで審査が行われます。また、市の様々な審議会の報告についてもとりあげられます。

実際に委員会を見て感じたのは、質疑応答の内容が細かく、より生活に近いところまで触れられていたため身近に感じることができ、本会議に比べて分かりやすい印象を持ちました。また、議案に対しその場で是非を解いており、普段テレビなどで目にする議会とは違うもののように感じました。

今日は7階
71委員会室
での開催です



こちらも
住所・氏名を
記入するだけ!

協議内容について
次第などの
資料を受け取って
傍聴です



議場見学



▲傍聴席から見学

豊田市議会では、議会傍聴の他に、議場見学も受け付けており、会議のない日は議場を見学することができます。

見学をご希望の際は、職員がご案内しますので、事前に議会事務局へご連絡ください。



▲議場内で職員から説明

傍聴・議場見学等についてのお問合せ

学校、団体による市議会の傍聴希望など、お気軽にご相談ください。

豊田市議会事務局 (南庁舎6階)

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

電話0565-34-6665

FAX0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp



条例の制定・一部改正など19議案を議決 そのほか承認案件などを審議

マイナンバー制度開始に合わせて、手数料を改定します

【議案第95号】手数料条例の一部を改正する条例

内容 マイナンバー制度の開始に合わせて、通知カード(全市民対象・平成27年10月から交付)・個人番号カード(希望者対象・平成28年1月から交付)を紛失・損傷等した場合の再交付手数料を、通知カードは500円、個人番号カードは800円と決定します。

※なお今回のカード発行に合わせて、住民基本台帳カードの交付は終了。

駅前の賑わい創出や整備、再生可能エネルギーの普及などに対応

【議案第101号】平成27年度一般会計補正予算

内容 総額7億6,800万円の補正予算のうち、「まちなか賑わい・回遊性向上費」として、現在整備が進められている北地区市街地再開発ビルの平成29年度シネマコンプレックスのオープンを捉え、映画「リトルプリンス 星の王子さまと私」公開を記念し、駅前の賑わい創出のため、各種タイアップ事業に取り組みます。



◀映画
「リトルプリンス
星の王子さまと私」

討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

※発言順に記載

根本美春 派 マイナンバー制度の危険性を指摘し反対

議案第91号・95号：反対。100%情報漏えいを防ぐシステムの構築は不可能であり、一度漏れた情報は流通・売買され取り返しがつかない事を指摘し、反対。DV等被害者への通知カード送付の対応も丁寧に行うべき意見も加える。

議案第106号：賛成。急激なインフレに対応し、工事請負金額を変更するインフレライド条項の適用は必要であり、賛成。加えて、増額分が下請労働者の賃金の引上に充当されたのか、市として確認・把握すべき事も申し上げる。

鈴木章 派 ラグビーW杯2019成功を目指し賛成

議案第101号：賛成。議会活動費ラグビーW杯開催都市視察旅費について、本市でのラグビーW杯2019を世界に通用する大会として成功させるには、不要な支出に十分配慮した上で各界各層の調査を積極的に行うべきであり、賛成。

承認第4号：賛成。歳入では法人市民税の増額、繰入金・市債の減額を高く評価。歳出では323億円余の投資的経費の確保、都市高速鉄道整備基金等の新設など健全な財政運営・財務体質維持に向けた前向きな取組等を評価し、賛成。

安藤康弘 派 産業基盤強化に向けた土地利用に賛成

議案第98号：賛成。御船山ノ神地区計画の決定にあたっては、民有地における工業系土地利用を促進するものであり、適正な開発の誘導に結びつけた事を高く評価、更なる産業基盤の強化に向けた取組に期待し、賛成。

議案第101号：賛成。豊田地域医療センター再整備設計計画は、診療機能が集約され、患者・医療提供者双方に利用しやすい効率的な配置が可能になる事を確認、本市の地域包括ケアシステム構築に寄与する事を期待し、賛成。

田代研 派 メリットの多い特定個人情報の提供に賛成

議案第91号：賛成。本条例の制定によって他の自治体等から特定個人情報を取得でき、行政業務の効率化が図れる事、また本市転入者が社会保障等の手続きを一部省略できるなど市民の利便性向上も期待できる事から、賛成。

承認第4号：賛成。青少年活動費について、青少年の自立心や社会性を育てる視点、ニート・引きこもりなど困難を抱えた若者に対する自立支援の視点、2つの視点から事業を捉え、青少年の課題解決に取り組んでいる事を評価し、賛成。

岡田耕一 派 水道水源保全の目的に沿った事業展開に賛成

承認第4号：賛成。豊田スタジアム修繕計画の策定について、昨年度、市の責任で費用も考慮した修繕計画を策定した事、修繕費を見据え開閉屋根の稼働を原則中止した英断を高く評価し、賛成。

承認第10号：賛成。平成26年度に本特別会計予算に対して、社会科補助教材費など目的から大きく逸脱した予算計上に反対を主張した。しかし不適切な執行はない事、また総括的に森林整備事業として実施する方針に転換された事が確認できたため、賛成。



※議案名など一部省略して記載しています

9月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く							
			自民クラブ 27名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名	
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
◆議案										
第91号	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	原案可決	27	0	10	0	4	0	1	2
92	川見四季桜の里条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
93	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
94	市職員の再任用に関する条例及び市職員退職手当条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
95	手数料条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	1	2
96	教職員会館条例及び体育施設条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
97	自転車等放置防止条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
98	地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
99	市営住宅条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
100	地域定住化促進住宅条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	1	2
101	平成27年度一般会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	1	2
102	// 下水道事業会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
103	工事請負契約の締結(山之手小学校校舎改築工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
104	// (旭簡易水道統合事業万町浄水場浄水処理設備工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
105	// (旭簡易水道統合事業万町浄水場機械電気計装設備工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
106	工事請負契約の変更((仮称)第2梅坪台中学校・交流館新築工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
107	// (一級河川安永川開水路整備工事(今工区))	//	27	0	10	0	4	0	3	0
108	// (寺部小学校・寺部こども園転移新築工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
109	市道の認定について(1路線/43.4m)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
◆承認										
第4号	平成26年度一般会計決算	認定	27	0	10	0	4	0	1	2
5	// 国民健康保険特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	1	2
6	// 食肉センター特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
7	// 都市計画事業土地区画整理特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
8	// 分譲住宅建設事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
9	// 卸売市場特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
10	// 水道水源保全事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
11	// 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
12	// 介護保険事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	1	2
13	// 財産区特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
14	// 簡易水道事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
15	// 後期高齢者医療特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	1	2
16	// 水道事業会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
17	// 下水道事業会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
18	// 逢妻衛生処理組合一般会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
◆同意										
第7号	教育委員会委員の選任(再任:神崎恭紀氏)	同意	27	0	10	0	4	0	3	0
8	固定資産評価審査委員会委員の選任(再任:宇野幸伸氏、河木照雄氏、牧野日彦氏)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
◆報告										
第7号	経営状況の報告(豊田市土地開発公社はじめ17法人)									
8	専決処分報告(損害賠償額の決定7件、訴えの提起1件、工事請負契約の変更4件)									
9	平成26年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告									



9月9日の本会議で委員会に付託された案件の審査等を、6つの常任委員会で行いました。
委員会の審査内容について、主な質問と答弁を要約して紹介します。

産業建設

委員会

9月16日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第107号】工事請負契約の変更
(一級河川安永川開水路整備工事(今工区))

質問

工事中に出土した汚染土の成分はフッ素と聞いているが、このフッ素を含む土壌はどのような所にあるのか。また、フッ素は、人体にどのような影響を及ぼすのか。

答弁

フッ素は自然に由来するものであり、地元の方の話によると当該地域は昔、ため池であったとのことで、腐葉土等が存在していたことが基準値を超えた原因の一つと考える。また、一般的に、フッ素は濃度が高ければ、皮膚や目など粘膜への刺激があるほか、フッ素濃度の高い飲料水を摂取し続けると呼吸器や歯、骨などに悪影響があるといわれている。



安永川

環境福祉

委員会

9月17日、付託された議案はありませんでした。

教育次世代

委員会

9月18日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情4件を報告しました。

【第103号】工事請負契約の締結
(豊田市立山之手小学校校舎改築工事)

質問

工事における地域住民及び子どもへの安全対策は。

答弁

地域住民に対しては、資材搬入口へガードマンを配置し、児童に対しては、工事エリアをフェンスで囲うことで児童との交錯を最小限にする。学校では、工事エリアに近づかないように、全校集会などで指導を行う。また、登校時間帯は、工事車両などの搬入を行わないようにし、定期的に行う工事の打ち合わせで、学校とも互いに調整等をしながら、児童の安全、円滑な学校運営に努めていく。

【第106号】工事請負契約の変更
(〔仮称〕豊田市立第2梅坪台中学校・交流館新築工事)

質問

住宅地への新築だが、周辺住環境への配慮は。

答弁

周辺の住環境に配慮したことは、主に3点ある。1点目は、プールを校舎の屋上に整備し、グラウンドの面積を確保するとともに、授業で出る音の軽減や周辺からの視線に配慮した。2点目は、住宅が密集する敷地西側に歩道を整備し、登下校時の生徒の安全確保とともに、周辺住民が安全に通行できるようにした。3点目は、駐車場の出入口を敷地北側1カ所にするすることで、周辺住宅地への車の進入を抑制した。

生活社会

委員会

9月24日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第92号】豊田市川見四季桜の里条例

質問

地域の活性化に、どのように寄与していくのか。

答弁

川見四季桜の里の観光施設としての魅力を向上させることで、観光客の利用増加が見込まれる。これにより、施設周辺に隣接した、地域住民が運営する飲食・物販店の利用増加を見込んでいる。

また、さくら山を除く施設の維持管理や有料駐車場の管理運営などを地域の団体へ委託することにより、地域の雇用を確保していく。

【第104号】工事請負契約の締結
【第105号】(旭簡易水道統合事業万町浄水場浄水処理設備工事・機械電気計装設備工事)

質問

この金額での請負であれば、原則、市内本店業者との建設共同企業体による発注になると理解しているが、そのようにならなかった理由はなにか。

答弁

2者による共同建設企業体を構成する場合には、その構成員の出資割合が2者とも30パーセント以上でなければならないという条件があるが、当該両工事とも、この条件を満たしている市内業者がなかったため、建設共同企業体ではなく、単独での発注とした。



委員会

企画総務

委員会

9月25日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第91号】 豊田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

質問

本市独自の利用条例で定めた事務について、法定事務と同様に、特定個人情報提供ネットワークシステムを使用し、他の自治体から情報提供は可能か。

答弁

独自利用条例で定めた事務については、特定個人情報保護委員会規則に基づき、事務の内容及び当該事務処理に必要な特定個人情報を同委員会へ届け出ることになっている。これにより、条例で定めた独自の事業事務を処理するために必要な特定個人情報においても、法定事務と同様に情報ネットワークシステムを利用して、他の自治体から情報提供してもらうことが可能となる。

【第95号】 豊田市手数料条例の一部を改正する条例

質問

本市においては、いつから個人番号カードを利用し、住民票等をコンビニなどで発行できるようになるか。

答弁

本市では今年10月下旬から順次、住民登録のある方へ通知カードを交付し、実際に手元に届くのは郵便事情等から11月ごろになると予想している。住民票等のコンビニ発行については、住民票の写しを始め、印鑑登録証明書、戸籍証明書及び所得課税証明書をコンビニの端末を使い、平成28年10月から発行できるように準備をしている。

予算決算

委員会

9月10日から29日に、付託された補正予算2議案と決算案件15件を審査し、すべての案件を承認及び認定しました。

【第101号】 平成27年度 豊田市一般会計補正予算 (美術館費)

質問

デトロイト美術展の予算内訳と集客対策は。

答弁

今回の予算は、市からのほか、マスコミ各社から1,200万円の出資を受け、1億3,200万円を見込んでいる。内訳は、国内3会場全体の共通経費のうち、豊田会場の分担金が7,500万円余で、作品の借用料や輸送費等が含まれている。このほかに豊田会場単独経費として、5,600万円余を見込んでおり、これは宣伝費や会場設営費等である。

また、今回の集客対策は、マスコミ5社と幅広く手を結ぶことで、広域的な宣伝を行う。あわせて、中心市街地と連携したPRや、観覧券販売方法を工夫したり、シャトルバスの運行も考えている。

【承認第4号】 平成26年度 豊田市一般会計決算 (企画費)

質問

新・豊田市誕生10周年プロジェクト事業について、平成26年度全体の事業評価はどのようなか。

答弁

とよたの子カラ!満サイ展に約2万人、プロジェクト記念事業の5事業に約1万5,000人、プロジェクト連携事業の72事業に約18万3,000人の参加者があった。

一連のプロジェクトを通して、合併

後10年の各分野の取組や豊富な地域資源について、振り返り、その内容を市民に伝え、共有できたことは、これからのまちづくりを市民とともに進めていく上での基礎になっていくものだとして評価している。



とよたの子カラ!満サイ展

【承認第4号】 平成26年度 豊田市一般会計決算 (ものづくりプロジェクト推進費)

質問

「ものづくりなぜ?なぜ?プロジェクト」の自動車分野を継承・発展させた事業の特色と成果はどのようなか。

答弁

特色は自動車関連企業のプロたちから直接指導を受けられ、ものづくりの心を学ぶことができることや、年齢や習熟レベルに合わせてコースを設定しており、継続的な成長が可能なことである。

また、成果としては、活動を通して仲間と協力しながら指導者と接することで社会規範やルールを学び、挑戦・失敗を繰り返すことで考える力が育成されることや、職業意識の醸成につながることである。過去には、自動車関連企業への就職や、それを目指して進学した者などがあり、将来の豊田市の産業を担う人材が育成されると考えている。



ものづくりなぜ?なぜ?プロジェクト



9月7日から9日にかけて、21人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する12月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

杉浦弘高

自民クラブ



●太田市長の政治姿勢を問う

質問 次期市長選に向けた考え

第8次総合計画の策定・実現に向けて、市長の任期を来年2月に控えた今、次期市長選挙に向けての思い・政治姿勢を問う。

答弁 市長

今年度、第8次総合計画の策定に舵を切った所であり、私としては市民の皆様のご理解・ご支援が頂けるのであれば、引き続き皆様と共に、本市のより良いまちづくりに取り組んでいきたいと考えている。しかし、まずは来年2月までの任期を全うすべく、職務に専念していく。

榎屋小百合

公明党



○認知症対策
●救急医療の適正受診

質問 コールセンターの検討状況

県は小児救急電話相談「#8000」を実施しており、本市としても、全市民が大きな安心感を得られるコールセンターが必要と考えるが、市の考え方は。

答弁 市民福祉部

小児救急電話相談「#8000」は小児限定であり、今後の高齢者増加による救急患者の増加が予想される中では、全市民を対象にしたコールセンターが有効ではないかと考えている。

日當浩介

市民フォーラム



●魅力あるきれいなまちづくりへの取組

質問 ミライに誇れるきれいなまちづくりへの取組

市内においても問題となっている

いわゆる「ごみ屋敷」に対して、どのような対応を考えているか。また、豊田市駅周辺をポイ捨て・路上喫煙禁止特別重点地区として、指定・条例制定できないか。

答弁 環境部

「ごみ屋敷」に対しては、早期発見と初期段階での対応が重要と考えるが、個人の敷地内でも強制的に撤去することができる条例の制定や、体制の整備を検討する。

また、多くの来訪者がある豊田市駅周辺は、本市の顔であり美しいまちづくりには重要なエリアであり、環境美化が欠かせない。豊田市の環境を守り育てる条例に基づき、駅周辺の実情に即した施策を重点的に実施するよう努める。条例の制定に関しては、貴重なご提言として研究していきたい。

鈴木章

自民クラブ



○総合教育会議と学校教育
○環境先進都市実現に向けた今後の取組
○障がい者の地域生活の充実に向けて
●中山間地振興計画の策定

質問 (仮称)おいでん・さんそんビジョン策定の進捗

(仮称)おいでん・さんそんビジョンの策定を進める上では、同時に中山間地域振興策の条例化を議論し結論付けることも重要であると提言するが、その必要性について伺う。

答弁 企画政策部

中山間地域振興に関しては「豊田市まちづくり基本条例」の前文の他、いくつかの条例で必要性を規定している。(仮称)おいでん・さんそんビジョンは、これらの趣旨を踏まえて、都市と農山村の共生及び中山間地域振興の指針として策定する。提言のあった条例化については、ビジョンに基づいて取組を推進する中で、必要性も含めて検討していく。



中山間地域の活動(集落応援隊講習)

牛田朝見

自民クラブ



○第6期高齢者保健福祉計画の重点取組
●市民の環境配慮行動の促進

質問 とよたエコポイント制度

エコポイント制度推進に向けた課題と今後の展開を問う。また、現在のエコポイントを「WE LOVE とよた」ポイントに拡大し、相乗効果につなげることを提言する。

答弁 環境部

より多くの市民に利用してもらえる仕組みにすることが課題である。今後は、単に「エコポイントを貯めて魅力ある商品に交換できる」のではなく、市民が本制度の真の目的を理解し、日常の行動がポイントへ反映され、行動を継続してみようという意識につながるメニューを考えていく。ポイントも、地域還元を促進するため、地域の特産品や農産物等へお得に交換できるような仕組みを考えるなど、楽しくエコライフに取り組む家族が市全域に広がるよう努める。



エコファミリーカード



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

岡田 耕一

諸派



- (仮称)水辺ふれあいプラザ
- とよたエコファミリー制度のリニューアル

質問 水辺ふれあいプラザは当初計画通りでいいのか

現在の計画地にとらわれず既存施設を整備してはどうか。また取得用地は地元市民の公園として整備してもよいと考えるが、今後の進め方について伺う。

答 弁 建設部

良好な水質と川への近づきやすさの点で優れている当該計画地が最適であると考えている。今後は自然観察の森など他の環境学習施設や、水辺公園との連携や役割分担を再度検討するとともに、施設内容や運営のあり方についても、地域活性化につながるよう進めていく。見直した計画は、再度パブリックコメント等を実施し、市民意見を反映しながら取りまとめている。

安藤 康弘

市民フォーラム



- 子ども・青少年の健全育成

質問 青少年センターの活動

今年度より新たに「若者サポートステーション」を常設したことによる効果はどのようか。

答 弁 子ども部

昨年度までは月3回の自立支援相談会で年間130件程度の相談があったが、相談窓口を常設したことにより、8月までの相談実績はすでに225件と昨年度を大きく上回っている。また、窓口の常設化に伴い、福祉・就労・教育など専門性の高い支援機関で構成される若者支援地域協議会を立ち上げ、これまで以上に関係機関の連携を深めることが可能になった。今後より連携を高めることで、適切な相談・支援を推進していく。



若者サポートステーション

板垣 清志

自民クラブ



- 合併処理浄化槽による水環境の保全
- 消防対応力の充実

質問 合併処理浄化槽の普及促進

合併処理浄化槽への転換を促進するためには、現在の補助制度を更に充実させる必要があると考えるが、制度見直しの考えを伺う。

答 弁 上下水道局

生活排水を処理し水環境を健全に保全するには、下水道の整備と共に単独処理浄化槽や汲取トイレから合併処理浄化槽への転換を積極的に推進する必要があると認識している。現在、生活排水処理の未普及解消を目指したアクションプランを策定しており、その中で合併処理浄化槽設置費補助のあり方についても検討している。

中村 孝浩

市民フォーラム



- 将来を担う子ども達の教育や環境整備

質問 小・中学校の教育環境の整備

市長は答弁で「地域の懇談会を踏まえ、少人数学級だけでは解決できないきめ細かな指導が必要である」と述べられた。具体的な課題や今後の取組の方向性を伺う。

答 弁 学校教育部

学習指導要領の改訂による授業時間数の増加、外国語活動等の新たな学習指導の導入、いじめ・不登校等の個別対応、学校教育に対する保護者や地域の期待など、学校を取り巻く状況が大きく変化しており、これらに対応できる仕組みづくりが課題と考える。学校を取り巻く状況の変化や現在実施している少人数学級編成・少人数指導など学校現場の実情を総合教育会議に積極的に提供し、今後のきめ細かな指導において、より効果の高い仕組みを協議していきたい。

鈴木 孝英

市民フォーラム



- スポーツを生かしたまちづくり

質問 豊田マラソン

ハーフマラソン開催に向けた本市の検討状況と課題は何か。

答 弁 教育行政部

平成25年度から市体育協会が参加者を4,000人と想定し、同規模のハーフマラソン大会の状況調査やコース設定のシミュレーションなどの検討を行っている。運営上の課題は、事業費拡大への対応、警備やボランティア等多くの人員確保などが挙げられる。コース設定上の課題は、一定のコース幅の確保、高低差が少ないこと、病院・消防署など緊急車両の出入りに支障がないこと、参加者等の移動の円滑化、周辺住民や事業所の理解等と考えている。



豊田マラソン



議員氏名
会派名



○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)
実際に質問した内容(小項目)

答弁 回答した部局名
質問に対する市の担当部局の回答

浅井保孝

自民クラブ



- 犯罪のないまちづくりの推進
- 待機児童問題と関連した保育士の確保

質問 地域との連携強化による
地域防犯力の向上

青パト防犯活動団体も含めて、地域の自主防犯活動団体に、どのような支援をされているのか、実績も含めて伺う。

答弁 社会部

ベストや帽子、青色誘導棒など防犯用品の支給を行っており、昨年度は148団体を支援した。また防犯知識の習得と活動の活性化に向け、研修会及び地域防犯リーダー養成講座等の人材育成を実施している。今年8月には犯罪から子どもを守る環境づくりについての研修会を行い352人の参加があった。さらに青パトに関する警察への手続き支援や青色回転灯の貸し出し、地域が行う防犯研修会への講師料助成も行っており、昨年度は5団体に交付した。

北川敏崇

自民クラブ



- 豊田市における文化芸術振興計画
- 文化施設の活用

質問 文化芸術と出会う機会の
充実

本市では、子どもたちが文化芸術に出会う機会の拡充に向けて様々な取組を行っているが、開催内容とその課題は何か。

答弁 教育行政部

取組としては、学校への文化活動者派遣事業、小学6年生対象の劇団四季公演、親子対象の交響楽団コンサートの他、平成25年度から地域資源を活用した「とよたデカスプロジェクト」を開催している。当プロジェクトは、身近な場所で自主的に開催される文化芸術イベントを通じて、文化活動者と市民の出会いを増やすものであり、平成26年度は13事業、27年度は16事業を採択した。課題は、こうした機会を継続的に提供していくことと考えている。



動物園で初体験!檻の中から見ると世界(とよたデカスプロジェクト採択事業)

小島政直

公明党



- 第8次総合計画土地利用構想「核の整備方針」

質問 愛知環状鉄道
三河豊田駅周辺整備の方向性

愛知環状鉄道「三河豊田駅前広場」を含めた周辺地域の整備をどのように考えているのか。また、「産業地域核」にふさわしい地域として整備されることを提言するが、どう考えるか。

答弁 都市整備部

三河豊田駅前広場は、昭和47年3月31日に都市計画決定され、豊田南部土地区画整理事業に合わせ整備が完了している。現在の都市計画マスタープランにおいて、三河豊田駅は主要な鉄道駅とされ、その周辺は産業技術核に位置づけられる、本市にとって重要な地域であり、その考え方は今後も変わらないと考えている。三河豊田駅前広場については、利用実態調査を通して課題を把握し、必要な対応を行うべきものと考えている。

杉本寛文

自民クラブ



- 農業の担い手確保と地産地食
- 障がい者の自立支援策

質問 新規就農者への支援

より高付加価値な施設園芸について、農ライフ創生センターを中核に、本市とJAの共同での栽培技術の確立・人材育成ができれば振興につながると思うが、市の考えを伺う。

答弁

産業部

施設園芸は、企業参入も増えており、農業経営の安定や本市の特産品作りの面から注目している。栽培品種によって収支や技術の面でメリット・デメリットがあるため、JAと共にこの地域に最も適する施設園芸について研究を始めた。「担い手の確保」「栽培技術の確立」は、農ライフ創生センターの活用も視野に入れて検討していく。参入希望の企業にも、マニュアルの作成など、既に相談体制を整えており、本市で農業を行う有利さを引き続き積極的にPRする。



農ライフ創生センターでの稲刈り講習

大村義則

諸派



- 介護保険改悪に立ち向かう姿勢を、市に求める

質問 新総合事業の移行準備

新事業では利用者の希望に応じられるようサービス量を確保すべきこと、また事業費不足が利用抑制にならないよう組み立てていく必要があると提起するが、市の考えは。

答弁

市民福祉部

現行の介護サービスに加え、多様な担い手によるサービスへの参入を促し、多様なサービスの確保を目指すほか、地域包括支援センターが高齢者の希望に合うようにマネジメントを行っていく。新総合事業費が「上限額」を超えた場合は、厚生労働省が個別に判断する仕組みを設ける等様々な措置が講じられると聞いているが、具体的な内容は示されていない。本市ではサービスの利用抑制は実施せず、効率的・効果的な事業実施に努める。



マメ知識

一般質問とは

議員が市政全般について、事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め又は質問すること。定例会でのみ行われます。一般質問の順番は、くじ引きによって決まります。

山田 主成

自民クラブ



- 安定財源確保に向けた住宅及び産業施策の推進

質問 住宅施策の更なる強化

住宅施策として、市街化調整区域内地区計画において、市街化隣接型の面積緩和の考え方は。

答 弁 企画政策部

最低面積の緩和については、一体的かつ良好な住環境を保全するため一定規模の面積は必要であり、現基準の運用においても宅地供給に一定の成果は挙げていることから、現時点では考えていない。

しかし、民間事業者からの相談案件の動向は引き続き注視していく。

吉野 英国

市民フォーラム



- 積極的な企業誘致と中小企業支援

質問 中小企業支援への取組

支援施策の情報が経営者に十分に伝わっていない。市内すべての中小企業を訪問するには限界があるが、本市の周知の取組について伺う。

答 弁 産業部

市内のものづくり中小企業を対象に、年間5回程度案内を郵送している他、ホームページ「とよた産業ナビ」やフェイスブックを活用した補助事業やセミナー等のタイムリーな情報提供に努めている。またイノベーションセンターのコーディネーターや市職員が企業訪問を行い、個別の支援策を提案するなど利用促進に努めている。周知には企業訪問が最も効果的であるが、訪問件数に限りがあるため、今後も様々な機会や媒体を通じて発信していく。

根本 美春

諸派



- 住民を守る防災対策
- 子どもの権利を保障する子ども総合計画

質問 防災無線戸別受信機の設定

中山間地域に防災無線戸別受信機は必要であり、設置を求めるが市はどう考えるか。

答 弁 社会部

防災情報を受信できる戸別型の情報機器は、戸別受信機のほか、防災ラジオ、簡易無線端末、CATV、携帯電話、インターネット端末など様々な存在しており一長一短がある。災害の危機が迫る中で、どの時点で、どのような人に、どのような情報伝達が必要で、どのような手段が総合的に有効なのか、中山間地域の地理的特性を踏まえて即時性や情報量等を考慮しながら伝達手段の充実に取り組む。

窪谷 文克

自民クラブ



- 第2次豊田子ども総合計画の基本施策
- リーマンショックからの教訓

質問 保育需要の対応

保護者が育児休業を取得した際の退園について、3歳児も継続入園できるようにすべきと考えるが、市の考え方は。また3歳児の取扱いを見直した場合、経費負担はどうなるか。

答 弁 子ども部

育児休業取得の際の退園については、見直しの検討を進めている。0歳児から2歳児については、待機児童が多く発生していることから見直しは難しいと考えるが、提案のあった3歳児については幼児教育上の観点から踏まえ、検討を進める。なお3歳児の見直しに伴って発生する新たな財政負担はないと判断している。

加藤 和男

自民クラブ



- ラグビーワールドカップ2019の取組

質問 ラグビーワールドカップを生かしたまちづくり

ワールドカップに取り組むことで、まちづくりにどのような効果を目指しているのか。

答 弁 教育行政部

本大会は、世界40億人がテレビ観戦すると言われており、本市を世界へ情報発信できるだけでなく、大会には海外から40万人の観戦者が訪れることから「国際化の推進」にもつながる。また本市の「スポーツの振興と健康づくり」の効果が得られる他、平成26年度調査では本市内で27億円から38億円の経済波及効果が試算されている。さらに、市の財産として大会の資産や価値が継承され、本市のまちづくりの発展に寄与すると考える。

山口 光岳

自民クラブ



- 学校安全の推進
- 地域住民が安心する防災・減災

質問 実態に即した適切な防災・減災の取組

局部的豪雨の対応として、集会所等への雨量計設置を補助制度も含めて推進すべきと提言するが、どう考えるか。

答 弁 社会部

現在市内の雨量情報は、雨量情報ネットワーク25地点の他、国や県の観測点もインターネットで確認できる。大雨予測については気象庁のホームページで1時間先までの降雨予測、県のホームページで土砂災害危険度情報が掲載される等、局地豪雨に備えやすい情報環境になってきたが、さらに狭い範囲での災害情報分析と住民の自己判断支援が重要と考える。雨量計の設置補助は、自主防災事業補助金制度の活用が可能と考えられるため新たに補助対象としていきたい。



地域市議会報告会を開催します

《藤岡会場》 ■日 時／平成27年11月7日(土) 午後2時～
■場 所／藤岡南交流館 多目的ホール

《挙母会場》 ■日 時／平成27年11月14日(土) 午後2時～
■場 所／豊田市福祉センター4階 41会議室

○開催内容 9月定例会報告、質疑、意見交換会

市民シンポジウムは、平成28年1月16日(土)
午後2時から開催を予定しています。

詳しくは、豊田市議会ホームページ等でご案内します。

※どなたでもご参加いただけます。
多くのおみなさまのご来場をお待ちしております。(申込不要)

交通安全啓発活動(9月4日)



この日の本会議終了後、議員による交通安全啓発活動を実施しました。

一人でも多くの市民に交通安全の意識を高めてもらおうと、市長はじめ特別職・幹部職員の参加も得て、街頭活動に取り組みました。

ラグビーW杯2019の豊田市開催をPR



今定例会開会日に全議員と出席の執行部がそろいのロゴ入りポロシャツを着用し、「ノースサイド議会」として、ラグビー



W杯2019開催地をPRしました。今後、大会開催地として素晴らしい大会となるよう、さらに盛り上げていきます。

中核市議会議長会総会が開催され、会長へ就任

7月22日(水)、中核市議会議長会(全国45の中核市議会議長で構成)の平成27年度第1回総会を豊田市で開催し、豊田市の神谷和利議長が会長に就任しました。中核市に関する行政課題についての調査・研究や、国への要望活動を行い、地方分権の推進に取り組んでいきます。



ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

インターネット録画放送

豊田市議会 検索 <http://toyota-shigikai.jp>

「市議会だより」のバックナンバーや
詳しい会議録もご覧いただけます。

「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



F M ラジオで

FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継
チャンネル/78.6MHz

12月市議会定例会の予定

12月市議会定例会は
12月4日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「9月市議会定例会号」です。

※このページは裏面です。
本紙から抜き取ってご覧ください。



豊田市議会は、古紙配合率80%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています